

15 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社修理課までご連絡ください。

⚠ 警告 部品交換を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

修理課（東日本）

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 04-7178-6402

修理課（西日本）

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
シールがきれいにできない	ヒーター・シリコンゴムにゴミが付着していませんか	きれいな布で拭き取ってください
	ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムが破損していませんか	ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムを交換してください
	加熱温度が高すぎませんか	シールができる最低の加熱温度に設定してください
	冷却温度が高すぎませんか	冷却温度を下げてください
ヒーターが切れやすい	加熱温度が高すぎませんか	シールができる最低の加熱温度に設定してください
	冷却温度が高すぎませんか	冷却温度を下げてください
	ガラステープやシリコンシートが破損していませんか	ガラステープやシリコンシートを交換してください
	電極が破損していませんか	※電極を交換してください
シールの仕上がり状態が左右で異なる（片方だけが溶けるなど）	シリコンゴムの片側だけが消耗し、へこんでいませんか	シリコンゴムを交換してください
ヒーターが中央部で折れて盛り上がる	電極が破損していませんか	※電極を交換してください
	シリコンゴムが消耗して凸凹が発生していませんか	シリコンゴムを交換してください
電源スイッチを ON 状態にしても電源ランプが点灯しない	電源コンセントに電気がきていますか	作業場の電源に電気がきているか確認してください
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください
	電源プラグが破損していませんか	※電源コードまたは電源プラグを交換してください
	電源コードが断線していませんか	
スポンジ位置で ENTER ボタンを押してもレバー復帰しない		電源ボタンで電源を OFF にして、再度電源を ON にし、ディスプレイ画面表示のとおり、ENTER ボタンを押して、スポンジ位置解除動作を行ってください ※上記の対処方法で解除されない場合は内部電子部品の故障が考えられますので交換が必要です

このような時は	ここを確認してください	対処方法
漏電ブレーカーが落ちる	シール加熱中に漏電ブレーカーが落ちますか	※電源側に適正電圧がきているか調べてください ※コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です
	電源を入れると同時に落ちますか	※電源を入れると同時に落ちる場合、漏電している可能性がありますので、お買い上げの販売店または弊社修理課までお問い合わせ下さい

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

15-1 ディスプレイのエラー表示 1

ディスプレイ画面表示	ここを確認してください	対処方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> カネツ フリヨウ ENT エラーヒョウジカイジョ </div>	ヒーターが破損していませんか 電極とヒーターの接触が悪くなっていますか	ヒーターが破損している場合、ヒーターを交換してください 「10-4 ヒーターの交換」(→P.84)を参照し、ヒーターを正しく電極に取り付けてください
	温度センサーの位置ずれや取り付け忘れをしていませんか	温度センサーが確実に取り付けられていないと温度上昇を感知できないので、圧着レバーが初期状態に戻ります 「10-10 温度センサーの交換」(→P.90)を参照し、確実に取り付けてください
	温度センサーのコネクタは正しく接続されていますか	温度センサーの故障が考えられます
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> オンドセンサ イジョウ ENT エラーヒョウジカイジョ </div>	温度センサーのコネクタは正しく接続されていますか	温度センサーの故障が考えられます
上記の対処方法でもエラーが解消しない場合は、製品を動かしながら、加熱ランプを確認してください	加熱ランプが点灯していますか	点灯している場合、SSR リレーの故障が考えられます 点灯していない場合、コントロールユニットの故障が考えられますので交換が必要です
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> レバー スポンジイチ カイジョ ENT レバーガモドリマス </div>	シール面やスポンジゴムに異物が挟まっていますか	異物が挟まっている場合、「9 異物挟み込み時の対処方法」(→P.78)を参照して、異物を取り除いた後、スポンジ位置解除動作を行ってください 異物が挟まっていない場合、ENTER ボタンを押すとスポンジ位置解除動作を行います 解除操作時、圧着レバーが一度下部位置まで下降しますので、注意してください

15-2 ディスプレイのエラー表示 2

ディスプレイ画面表示	エラー内容	対処方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X1 センサイジョウ ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	X1 センサー故障 X1 センサー断線	※位置センサーの調整、または交換 が必要です。お買い上げの販 売店または弊社修理課までお問 い合わせください
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X1 ジョウブ ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	レバー上部位置エラー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X2 スポンジ ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	スポンジ位置エラー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X3 カブイチ ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	レバー下部位置エラー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X4 ノズルコウタイ ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	ノズル後退位置エラー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> NG! X5 ノズルゼンシン ENT エラーヒョウジ カイジョ </div>	ノズル前進位置エラー	

15-3 ディスプレイのエラー表示 3

ディスプレイ画面表示	ここを確認してください	対処方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> カネツ セイギョ イジョウ ゲンインヲ トリノゾクマデ ドウサ サセナイデ クダサイ </div>	_____	SSR リレーの故障が考えられます ※お買い上げの販売店または弊社 修理課までご相談ください
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> イジョウ カネツ ENT エラーヒョウジカイジョ </div> 加熱時、規定時間内に設定温度まで達しなければ表示します	温度センサーの位置ずれや取り付け 忘れをしていませんか	温度センサーが確実に取り付けられていないと温度上昇を感知できないので、圧着レバーが初期状態に戻ります 「10-10 温度センサーの交換」(→ P.90)を参照して、確実に取り付けてください
	タコ足配線していませんか 正規のヒーターを使用されていますか	電源スイッチを切ってください タコ足配線をやめてください 弊社指定のヒーターに交換して下さい

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社修理課までご相談ください。

15-4 トラブル発生時は、メンテナンスモードを活用してください

メンテナンスモードの画面を表示させることで、製品の状態がわかります。トラブルが発生した時は、ディスプレイ画面にメンテナンスモードを表示させ、X、Yそれぞれの何番目が黒い表示になっているかを伝えていただくことでトラブルの状況を把握することができます。お問い合わせの際はメンテナンスモードで確認してからご連絡をお願いします。

メンテナンスモードの表示方法は、「8-4-20 メンテナンスモード」(→ P.51)を参照してください。

X0～、Y0～各動作内容は、「13 電気回路図」(→ P.100)のIN側(X)、OUT側(Y)にそれぞれ動作を記載しています。X1～X3が故障している場合、どの状態においても黒い表示になります。

